

パブリックコメントの結果及び市の考え方について（第3次大和まほろば広域定住自立圏共生ビジョン）

	該当箇所	パブリックコメント 概要	圏域としての考え方	担当町村
1	その他	パブリックコメントの計画案を公表するときは計画案の概要を公表してください。	「天理市パブリックコメント手続に関する要綱第5条第2項」では、『実施機関は、前項の規定により施策等の案を公表するときは、次に掲げる資料を公表するものとする。（1）施策等の案の概要』としていますが、概要の公表ができておりませんでした。ご指摘いただいたように、計画案の概要を公表いたします。	天理
2	生活機能の強化 その他	住民の交流を促進するために、圏域内公共施設の市町村内と市町村外の使用料の差を無くしてください。（市町村外使用料を引き下げて市町村内使用料にする。）	圏域内において現在29施設（天理市：10施設、山添村：4施設、川西町：6施設、三宅町：4施設、田原本町：5施設）の利用料金について、圏域住民が同料金で利用し相互交流いただけるよう設定をしております。より多くの方にご利用いただけるよう圏域住民の皆様への認知を高める情報発信を継続して行います。	三宅
3	その他	透明性を確保し、住民の意見を反映させるために共生ビジョン懇談会等各種会議における取り組みの成果、検証結果、資料等をホームページで公表してください。	会議の開催告知や内容についてはホームページに公開していますが、今後は共生ビジョン案や、取組状況についても公表します。	天理
4	結びつきやネットワークの強化 デジタル	DXを推進する場合は、住民の福祉の増進を図るため圏域市町村の独自施策を確保し一律な標準化ではなく、カスタマイズできるシステムとすること。（50頁）	関係自治体（部署）で共有し、個別最適化された「地域に即したDX」を推進できるよう努めます。	山添
5	結びつきやネットワークの強化 地産地消	地元農産物について計画案は「学校給食や加工品関係での農産物の利用などが考えられます」と指摘しています。学校給食で地元農産物を使用することについては、一つの市町村だけでなく圏域で取り組めば一定量を確保することができること、計画的で安定した消費量を確保することができ農業の安定経営もできます。生産者と子どもが交流することで教育効果も期待できます。学校給食等 地産地消の取り組みを拡充してください。（52頁）	できる限り関係自治体内（部署）で共有・連携し、今後、取組みを進めていくための参考とさせていただきます。	山添
6	生活機能の強化 教育	当然古代の地域は、現在の市町村の区割りは無く住民の交流は行われており、大和川を小舟で移動していたこともいわれています。圏域内の古代文化の繋がりを調査研究し情報発信し世界遺産登録をめざし、観光振興にも生かすこと。（28頁）	文化財分野では、遺物を持ち寄って展示を行ったり、情報誌に圏域の文化財情報を掲載したりするなど、文化財の情報発信と圏域の魅力向上に取り組んできました。また、担当者が定期的に集まって会議を行っており、圏域の古代文化の時系列的つながりに着目したタイアップ展示など様々な議論を行っています。圏域内外から圏域の古代文化に興味を持ち現地を訪れていただけるように、今後も圏域で連携し、文化財を活用してその価値や圏域の魅力を発信していきます。	田原本
7	その他	医療分野は広域のメリットを生かせます。休日・夜間診療の圏域内での連携の拡充を図ってください。	休日応急診療については、医療理念上、他市町の医療機関で応急診療を受けていただくことが可能であり、既に圏域内でも情報共有等の連携を行っています。引き続き、地区医師会とも連携し地域医療の充実に努めます。	天理
8	生活機能の強化 産業振興	観光歴史資源をバーチャル化した、動画と音声で閲覧できるスマホアプリケーションソフトを作成する。圏域内の歴史的つながりを含む内容とし広域周遊観光をすすめてください。	ご提案の視点も含め、費用対効果や既存媒体の活用、他の地域との連携などを総合的に考慮しながら、各地域にとってメリットがある観光連携を検討します。	川西